

ゼロカーボンシティ中学生検討チーム提言



チーム:「あまなっとう」

提言①

再生可能エネルギー（風力、水力、太陽光発電）を取り入れる

〈解決策1〉①風力、太陽光発電を行って、作りすぎても蓄電できる水素に変える

②学校や施設等にソーラーパネルを設置し、いつでも使えるようにしとく

〈解決策2〉①再生可能エネルギーを当たり前にする

そのために、地球温暖化とは何か、再生可能エネルギーとは何かを知ってもらうために、説明会を行ったり、身近な場所にポスター等を貼って、呼びかける

②どこから、何の再生可能エネルギーを取り入れるのかを理解し、場所や環境に合わせて、再生可能エネルギーを取り入れる

提言②

気温上昇対策

省エネの取り組みを推進して、気温上昇を抑制していく。

→市民や企業が取り組みやすくするために、目標を設定して、達成したら、クーポンの発行や金銭援助（贈呈）をする。

〈課題〉

〈解決策〉

・目標をどうするか → 国や他の市や県を参考にする

・達成状況をどう確認するか → 電気の使用状況（水道やガスも含め）を確認したり、あるいはセンサーを導入する。

〈まとめ〉

目標を達成したら、クーポンを発行する。

個人以外にも、企業や学校、研究者も対象にする。

ゼロカーボンシティ中学生検討チーム提言

チーム:「あまなっとう」

提言③

<課題> 人口減少

やりがいのある仕事を作る。→室蘭にとどまる人が多ければ人口も増える。

・室蘭市の環境をいかす

⇒レジャー施設を作ったりし、観光スポットを増やすことで観光客が増え、室蘭の知名度が多くなる。

・室蘭の環境

⇒室蘭は台風や地震の被害が少なく気温がいきなり変わる事がなく、雪も少ないから住みやすい。

・人が多くなるメリット

⇒人が多ければ住宅地などに花を植える活動がやりやすくなったり山に木を植える事もやりやすくなる。

提言④

雨にたよらない農業のやり方に変える

○屋内で農業を行う

○農業をする建物の強化

<理由>

ゲリラ豪雨などで農業に適さない雨が降りやすくなってしまうので、屋内での農業にすることで環境に左右されず安定した農業にすることができる。

また、水の調整を機械化することで、効率良く生産できる。

費用を出すのは難しいかもしれないが、クラウドファンディングを利用することで、費用も集まるし、返礼品で室蘭の良さを伝えられるので、1つの手だと思う。

ゼロカーボンシティ中学生検討チーム提言

チーム:「I♡LOVE室蘭」

提言①

私の課題は人口減少です。

人口減少はあまり環境のことに関係していないように考えると思います。

ですが、ゼロカーボンを目指すには、人口を増やすことを必要だと思います。

〈解決策〉

大きな施設を作る時に、環境負荷がかからないように、環境に配慮して作る。そして、施設ができて、利用されてからも太陽光発電を使用したり、お客さんがいない時は、電気を使わないようにしたりして、利用されてからも、環境負荷がかからないようにする。

そのことから、室蘭は環境への意識が高いという認識を持ってもらう。

そして、室蘭の強みである「室工大」と連携して、ゼロカーボンなどの環境教育を行うことで、子どもの意識を高め、学んだことが大人へも伝わるようにする。これが、室蘭だからこそのできる、室蘭の魅力である。

〈理由〉

環境への意識が高い人が引っ越して来ると、現在住んでいる高齢者の人が安心して住み続けることができ、ゼロカーボンを目指す人が増えることを願っているから。

大きな施設は、環境のことが学べるころ

住宅街 → ソーラーパネルをおすすめする。一角に風車を（目印のような）たてる。

提言②

室蘭の魅力である産業で今のエネルギーを使い続けると温室効果ガスが増えるのが課題だと思いました。なので、ソーラーパネルを屋上に設置するなどして再生可能エネルギーを積極的に利用したり、洋上風力発電や、ごみ焼却施設での発電を効率化など新しいエネルギーの改発や、発電の効率化をしたりすれば解決につながると思います。また、せっかく作ったエネルギーをむだなく使えるように蓄電池の技術の改発も進めたほうが良いと思います。なぜこのような解決策を提言するかというと、このまま化石燃料のエネルギーを使いつづけると、気候変動が起きてしまったり、資源がなくなったりして持続可能に安心して生活できなくなるからです。また、エネルギーの改発をアピールすれば人口の増加にもつなげることができると考えたからです。

ゼロカーボンシティ中学生検討チーム提言



チーム:「I♡LOVE室蘭」

提言③

「新しいエネルギー源の代替と通勤効率を上げる」

<現状の課題> 工業などから排出される温室効果ガスがこのままだと温暖化が止まらない。

<解決策>

今、使用しているエネルギー源は石炭などで、使用するとCO2が排出されるので、新しいエネルギーを作り出し、CO2（温室効果ガス）の削減をする。

また、現在の通勤手段では、CO2が削減できない。そのために、新たに通勤用のバスを新たに設けることや、ロンドンのように、自転車を普及させ、車の1台乗りを減らすので、CO2（温室効果ガス）が削減できる。

提言④

「ビニールハウスを使い、植物が育生しやすい環境作りと、養殖の促進をする」

<現状の課題> 温暖化による食料不足

<解決策>

工業から排出される熱を使用してビニールハウスの熱源として使用する。

養殖の促進とあるが、まずは船のガソリン問題を解決させる。

→動力を電気で走る船の開発をする。

また、ロボットの力を使い今の養殖などの効率を上げる

ゼロカーボンシティ中学生検討チーム提言

チーム:「無印のふぞろいスイーツ」

提言①

＜課題＞ エネルギー

＜解決策＞ 雪をためて水力にかえる。何年も使えるし、環境にも良いから。

- 老若男女問わず、楽しく取り組めるイベントをつくる。
 - ・学校対抗で雪や氷を使ったイベントを！ → 使った雪や氷は再利用しエネルギーへ。
- 雪の捨てる場所やためるところをもっとつくる。
 - ・空き地や使っていない小学校の土地などを利用！ → 雪や水が人の手が無くても流れていけるように道路の下に専用の坂をつくる。
- 最終的に、室蘭市にある土地を有効活用して、雪力発電所をつくる！

提言②

私は2050年の課題として、電力消費が問題だと思い、「電力を使用しない時間帯をつくる」解決策を提言します。理由は、日本の電力はほとんど火力発電でつくられていて、二酸化炭素を排出します。

そのため、地球温暖化を進行させてしまうかもしれないからです。

具体的には電力の使用量を分かりやすく明示（見える化）をしたり、自家発電、イベントを作ったりすると電力に対する意識が出ると思っています。

○イベント

- ・キャンドルを使ったイベント
- ・キャンプのようなイベント
- ・電気を使わないイベント

○自家発電

- ・自動車、自転車などでためる
- ・太陽光など再生可能エネルギーを利用する
- ・最終的に余った電気はたすけ合う（ゆずる）

ゼロカーボンシティ中学生検討チーム提言

チーム:「無印のふぞろいスイーツ」

提言③

私が考える大きな課題は「電力消費」です。

今現在、全国的にも電力の消費量が問題となっています。

そのためにも、室蘭市が率先して問題に取り組んでいくべきではないでしょうか。

解決策として、「地域の企業やお店に節電してもらい、市で照会する形」をとってみてはどうでしょうか。それにより、節電に向けた取り組みを市民のみなさんを巻き込むことができ、地域の企業やお店のPRにもつなげることができます。

また、電力・水道・ガスなどの消費量をグラフ化して、減った消費量分だけポイントがもらえる、ということが出来るアプリを独自に開発するという手もあります。ゲーム感覚で楽しめるような、リアルタイムの消費量を町内会ごとに競い合う、というイベントや、市長と副市長で消費量の少なさを競い合ったりというイベントも開催できます。

市全体で協力をして節電した暁には、再生可能エネルギーを建設したりするクラウドファンディング的なものを行ったり、クリスマスには色とりどりたくさんの電飾を飾ったりするなど、様々なイベントが行えます。

このようなことから、ゼロカーボンシティに向けた解決策をすすめます。